

栃木放送平成 25 年度第 6 回 10 月期定例番組審議会議事録

1.開催の日時 平成 25 年 10 月 17 日(木)午前 11 時

2.開催の場所 栃木放送本社会議室

3.委員の出席 委員総数 9 名

出席委員 8 名

欠席委員 1 名

出席委員名	委員 長	増 田 仲 夫
	委 員	太 田 照 男
	委 員	竹 内 明 子
	委 員	小 島 俊 一
	委 員	岩 村 由 紀 乃
	委 員	高 野 俊 浩
	委 員	石 崎 均
	委 員	中 里 勝 夫
局側出席者氏名	代表取締役社長	吉 澤 文 夫
	常務取締役	竹 澤 一 夫
	報道制作局長	高 瀬 一 也

4 議 題

(1)「みんなでつなごう栃木の^{うた}民謡」について

(2)その他

5 議事内容

(1)「みんなでつなごう栃木の民謡」について

試聴番組：平成 25 年 8 月 31 日(土)放送

みんなでつなごう栃木の民謡の抜粋を試聴。

議題説明：報道制作局長 高瀬一也が番組概要について説明。
次に審議に入る。

各委員からは、

地元の放送局として最高の企画だった。

民謡の文化は農村部が発祥だということがわかった。

余分な解説がなくて却ってよかった。親しみが感じられた。

目をつぶってゆったりと聞いた。民謡好きにはたまらない番組だと思う。

歌だけなので、審議のしようのない番組。企画はいいと思う。

音がよかった。尺八もよく響き、他の楽器の音もはっきりと聞こえた。

ラジオの特性を活かした番組である。今後もこのような番組を企画してほしい。

民謡の枠を設けるのはいい。日本のいいものを伝えるのがマスコミの使命だと思う。今は日本の古典音楽がかからない。大切にしなければと改めて感じた。

地元でもどこで唄われているのかわからない。もっと広める努力も必要だと思う。

司会を民謡界からではなく、アナウンサーにしたほうが若い人たちにアピールできたのではないか。

解説が短かったような気がする。

などの意見が出された。当社としては、これらの意見を参考に、今後の番組作りに取り組んでいきたい旨を説明した。

(2) その他

平成 25 年度第 7 回 11 月期の審議会を平成 25 年 11 月 14 日(木)に開催することを決めて閉会した。